

平成28年度 大阪府立摂津支援学校 第1回 学校協議会 実施報告書

記

1. 日 時 平成28年6月27日(月) 10:00~12:00
2. 場 所 本校 会議室〔2階〕
3. 出席者 〈学校協議会委員 7名〉
西野 陽一 (大阪工業大学) 大矢 優子 (摂津市教育委員会)
福光 徒紫美 (ダイキンサンライズ摂津) 伊藤 聡子 (吹田子ども家庭センター)
増山 克己 (茨木・摂津障害者就業・生活支援センター)
宮脇 千恵 (本校 PTA 役員)
〈摂津支援学校〉
校長 教頭 事務長 首席 教務部長 部主事 計8名
〈傍聴者〉3名 (本校保護者)
4. 年間テーマ及び協議事項 「知的障がい支援学校としての本校教育の現状と課題について」
主な内容 ①今年度の学校経営計画について ②今年度の使用教科書について
③授業見学 (小学部・中学部・高等部)
5. 説明・質問・協議内容等
(1)はじめに
 - ・ 校長あいさつ
 - ◇ 自己紹介、学校紹介
 - ◇ 3年たつての問題点について外部からのご意見をいただきたい。
 - ・ 学校協議会委員及び事務局の紹介
 - ・ 委員長の選出
推薦により、西野陽一氏を委員長に選出。
- (2) 学校より報告および協議〔進行：委員長〕
 - ① 今年度の学校経営計画について (校長)
 - ◇ 基本的には変わらないが、中期目標に少し変更を加えた。3の(4)に多様な状況を想定した事業継続計画(BCP)の策定を追記した。本校は、洪水などの被災時に避難所として摂津市に指定される。BCPとは、被災後にいかに学校を元の状態に戻すかを計画する物である。その他昨年からの課題について少し手を入れた。「本物に触れる体験」や無線LANシステムの構築も検討している。
 - 委員) ファシリテーションボールとは?
 - ◇ 学校) 感覚統合訓練等にも使われていて、精神面の安定もはかれると昔は言われていた。体幹をつくることで目と手の協応動作の発達につながる。適度に空気が抜かれた状態にすることで、より取り組みやすくしている。
 - 委員長) 防災の件で摂津市と協定されると昨年あった。その中で、この学校は高槻市とも境にあるので高槻市の自治会とも連携する必要があると意見が出ていたが。
 - ◇ 学校) 摂津市との協定は、まだ確認中です。
 - 委員長) 茨木とは?

- ◇ 学校) 何かあった場合は、市関係なく避難所となるでしょう。ただ、支援学校では珍しい。
- 委員長) 周辺とも話をし、学校周辺住民にもこの学校が避難場所に指定されていることを知らせておく必要があるのでは。
- 委員) 中期的目標1の評価指標(3)イの2の卒業生の就職先を訪問し定着率を把握できたかの項目について
 - ◇ 学校) 以前の卒業生の離職率は50%。理由は様々だが、施設入所生徒が多かったため、卒業後、家に戻るにより生活が不安定になった。働くことの意味を、教育していく方針。本来にその職業でよかったのか。適職検査などの客観的なデータを元に就労指導していく。中・重度の生徒も含めて適性を考えていく。救われるのは「辞めても次の職につけている」点で、卒業生でも学校に相談してくれている。定着率は追求していく必要がある。
- 委員) 発達障がいのある生徒について具体的にどのような取り組みをされているか。
 - ◇ 学校) 外部講師を交えて障がい理解のための研修を積みながら、生徒個々に応じて支援計画を立てて指導を行っている。その為には、実態把握が重要と考えている。一人の教員のみでその子の課題・目標を設定するのではなく、保護者を含めて複数の目で検討している。
- 委員) 定着率については同意見。「自分が行きたかったところと違う」とよく本人が言う。周囲が感じていることとは違う。精神的に幼い部分はあるが、在学中に適性を見極める必要がある。
- 委員長) 昨年度の学校評価は？
 - ◇ 校長) 大阪府のWebページに掲載されています。ここで提示するべきでした。
http://www.pref.osaka.lg.jp/attach/6344/00189365/27r_S15settu-shien.pdf

② 今年度の使用教科書について (教務部長)

・各学部の教科書一部紹介

- 小学部 国語 「ぞうくんのさんぽ」ことば・かずの読み聞かせの授業で使用
音楽 「あそびうたの本」CD付き
その他、☆本(文科省が編集・出版している本と説明)を選定
- 中学部 理科 「図鑑ナチュラ」パワーポイントでイラスト掲示
音楽 検定本使用
- 高等部 国語 「なまえのことばじてん」語彙を増やしていく目的
数学 「ゆっくり学ぶ子のためのさんすう」ワークブック形式
国語 「10分で読めるシリーズ」音読に活用

- ◇ 今年度より、年度当初に教科書を持ち帰り、どんな教科書を使うか保護者に見てもらっている。参観日にも見てもらっている。来年度の教科書選定は始まっていて、8月には確定する。
- 委員長) 検定教科書はどのくらい選定されているか？
 - ◇ 学校) 中学部が多く選定している。
- 委員) 保健の教科書が選定されていないような…とても必要な内容もあるのでは？
- 委員長) 保健体育のところで選定しているのでは？
 - ◇ 学校) 検討します。
- 委員) 中1中2の地図帳の出版社がちがうが…。
 - ◇ 学校) 生徒の実態に合わせて選定しなおした。(使用教科書(選定・採択)一覧表の見方を説明)
- 委員) 転校の時は、どうしているのか？
 - ◇ 学校) 前任校から資料が送られてくる。確認して「同じ本」にならないようにはしている。

③ 授業見学 小学部 → 中学部 → 高等部 (学部主事)

(3) 意見書について

・教科書について

◇ 使える教科書を選定すること。無理に選ぶ必要はないが来年度に向けてさらに検討していく。今年度は、4月に使用教科書を保護者に見ていただいている。

・中学生チャレンジテストについて

◇ 昨年、チャレンジテストを使用して、大阪府は絶対評価の学校基準を出すようにした。チャレンジテストを受けるかどうかは任意だったのが、昨年度は事前に説明が不十分で、「受けてください」と言ってしまった。申し訳なかった。受けたことの調査・分析できていない。公立高校を受験する意思のある生徒が受験した方がよい。本年度、3年生の受験者はいない。

➤ 委員長) 意見書について何らかの回答はされるのか？

◇ 学校) 協議会の議事録で返答。

➤ 委員) チャレンジテストの説明は？

◇ 学校) 実施は校長判断で行う。内容を説明。昨年、豊中支援では中1・2年と中3年では内容を変えて行った。昨年は初めてのことで、細かい資料があった。

➤ 委員長) 保護者への説明が大切。中学部へはきちんと説明した上で「受験される」として欲しい。

(4) まとめ

・委員長より 委員の方にはできるだけ学校行事に足をお運びください。

・校長より いろいろ教えていただきたい。お叱りいただくことで研鑽できます。協議会の場でも、お気づきの点があればいつでもご意見ください。